CDミニコンポーネントシステム

X-CM30

MP3

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

- 放熱をよくするため、他の機器や壁等から間隔をとり、ラックに入れる場合はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入った場合、火災·感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示 (プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

D58-5-2-2a_A1_Ja

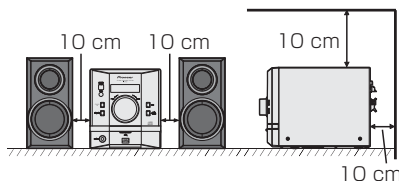
本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は5 ℃〜35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

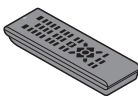
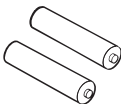
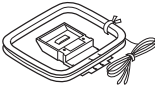
D3-4-2-1-7c_A1_Ja

⚠ 注意

本機を設置する場合には、壁から10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。

ラックなどに入れるときには、本機の天面から10 cm以上、背面から10 cm以上、側面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

はじめに

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(2 ページ) は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

付属品の確認

次の付属品が同梱されていることをご確認ください。

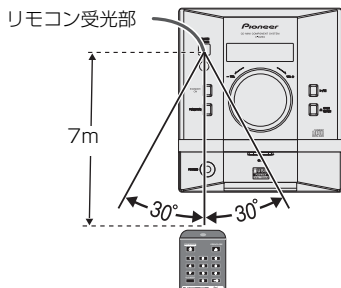
			以下のアダプターは、本機では使用しません。	
アダプター A × 1 （本機に取り付けられています）	アダプター B × 1	アダプター E × 1	アダプター C × 1	アダプター D × 1
リモコン× 1	単 4 形乾電池 （UM/SUM-4、R6、HP-7 など）× 2	AM ループアンテナ × 1	FM 簡易アンテナ × 1	保証書× 1 取扱説明書（本書）

もくじ

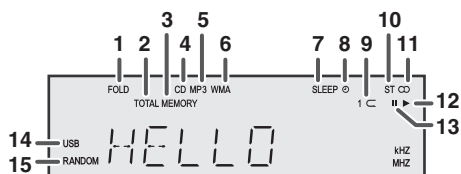
■ フロントパネル

参照ページ

1. iPod ドック 11
2. リモコン受光部 . . . . 下記
3. タイマーインジケーター 20
4. STANDBY/ON ボタン. 10
5. FUNCTION ボタン. 12,13,17,19,21
6. ディスクトレイ 13
7. PHONES 端子 21
8. ボリュームノブ 10
9. ►/❚❚ ボタン 12,13,17
10. ⏏OPEN/CLOSE ボタン 13
11. USB 端子 17

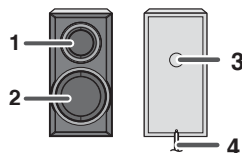
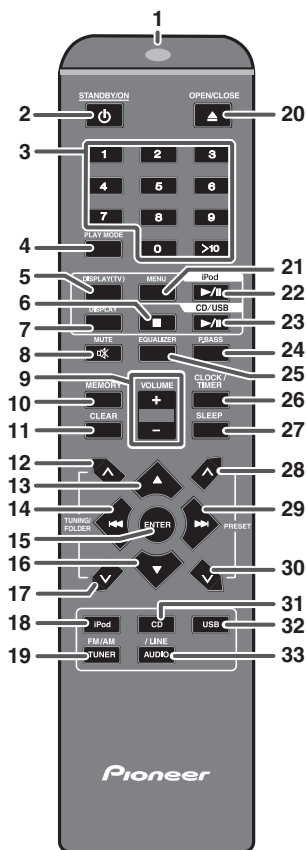
本機をリモコンで操作するときは、下図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ 表示部

参照ページ

1. フォルダーインジケーター 16
2. TOTAL インジケーター 16
3. MEMORY インジケーター. 14,18,19
4. CD インジケーター 13
5. MP3 インジケーター 13,17
6. WMA インジケーター 13,17
7. SLEEP インジケーター 21
8. タイマーインジケーター. 20
9. リピートインジケーター. 14
10. FM ステレオインジケーター. 19
11. FM ステレオ受信インジケーター 19
12. ► インジケーター. 13
13. ❚❚ インジケーター. 13
14. USB インジケーター 17
15. RANDOM インジケーター. 14

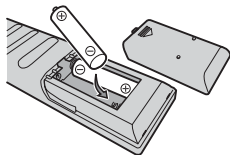
■ スピーカー

1. トゥイーター
2. ウーファー
3. バスレフダクト
4. スピーカーケーブル

■ リモコン

参照ページ

1. リモコン送信部 6
2. ⏻STANDBY/ON ボタン 10
3. ダイレクトサーチ（数字）ボタン 14
4. PLAY MODE ボタン 12,14,18
5. iPod DISPLAY (TV) ボタン 12
6. CD/USB ■ ボタン 13
7. CD/USB DISPLAY ボタン 16
8. MUTE（消音）ボタン 10
9. VOLUME +/ −ボタン 10
10. MEMORY ボタン 14,18,19
11. CLEAR ボタン 14
12. TUNING/FOLDER ∧ボタン 19
13. iPod ▲ ボタン 12
14. ⏮ ボタン 10,12,13,17,19
15. ENTER（決定）ボタン
16. iPod ▼ ボタン 12
17. TUNING/FOLDER ∨ボタン 19
18. iPod 入力ボタン 12
19. TUNER FM/AM 入力ボタン 19
20. ⏏OPEN/CLOSE ボタン 13
21. iPod MENU ボタン 12
22. iPod ▶/❚❚ ボタン 12
23. CD/USB ▶/❚❚ ボタン 13
24. P.BASS ボタン 10
25. EQUALIZER ボタン 10
26. CLOCK/TIMER ボタン 10,20
27. SLEEP ボタン 21
28. PRESET ∧ボタン 19
29. ⏭ ボタン 10,12,13,17,19
30. PRESET ∨ボタン 19
31. CD 入力ボタン 13,16
32. USB 入力ボタン 17
33. AUDIO / LINE 入力ボタン 21

電池を入れる

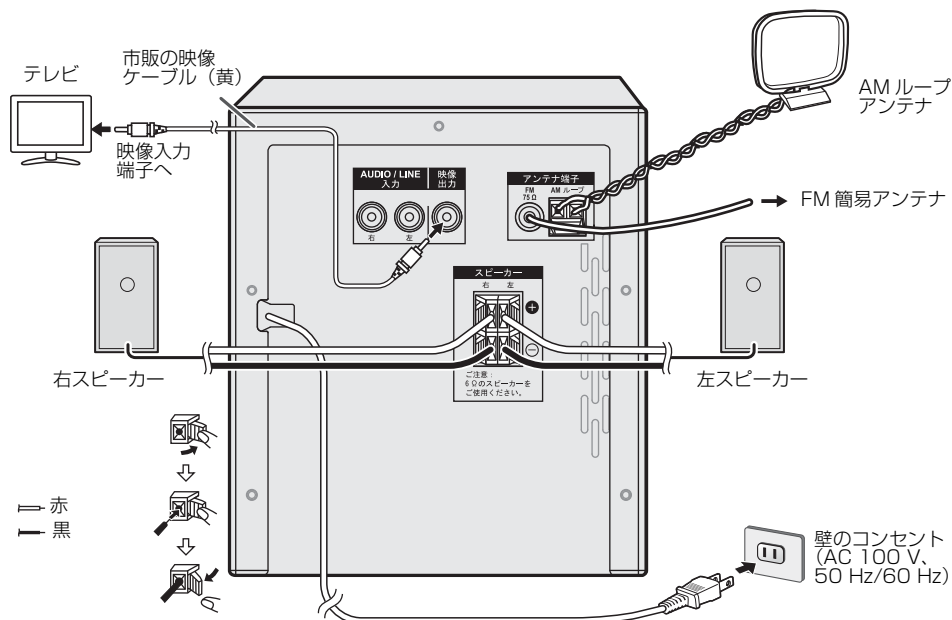
1 矢印の方向に、裏ブタを開く
2 ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる
3 裏ブタを閉める

⚠ 警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
  また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

⚠ 注意

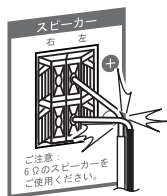
- 電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。
  − 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ 向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
  − 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  − 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
  − 長い間（1 か月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
  − 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- リモコンに電池を入れるときは、電池ケースの（−）端子を曲げないようにご注意ください。

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

テレビ
市販の映像ケーブル（黄）
映像入力端子へ
AUDIO / LINE 入力
映像出力
右 左
アンテナ端子
FM 75 Ω
AM ループ
AM ループアンテナ
FM 簡易アンテナ
スピーカー
右 左
ご注意：6 Ωのスピーカーをご使用ください。
右スピーカー
左スピーカー
赤
黒
壁のコンセント（AC 100 V、50 Hz/60 Hz）

■ スピーカーをつなぐ

- 黒いケーブルをマイナス（−）側、赤いケーブルをプラス（+）側の端子に接続してください。
- 右側と左側のチャンネルを間違えないように注意してください。本機を正面から見た場合に右になるのが、右側のスピーカーです。
- スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプ回路に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。

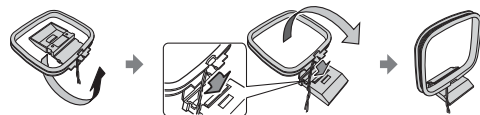
逆に接続しないでください。

- 端子に接続したあとスピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- 本機のスピーカーはテレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響しやすい機器（フロッピーディスク、カセットテープ、ビデオテープなど）は本機のスピーカーから離してお使いください。近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- 本機に付属のスピーカー以外のスピーカーを接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- 付属のスピーカーを他のアンプに接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- バスレフダクト内に物が落ちたり、入ったりしないようにしてください。
- スピーカーの上に立ったり座ったりしないでください。けがをする危険があります。
- この製品は、天井に吊り下げたり壁に掛けたりしないでください。落ちてけがの原因となることがあります。

■ アンテナをつなぐ

付属の AM ループアンテナ：

AM ループアンテナを AM ループ端子に接続して、受信状態が良い方向にアンテナを向けてください。AM ループアンテナは、棚などに置くか、ネジでスタンドや壁面に取り付けてください (ネジは別途ご用意ください)。

組み立てる

① 台を外側に出す　② 突起部を溝にはめる　完成

壁に取り付ける

付属の FM 簡易アンテナ：

FM 簡易アンテナを FM 75 Ω 端子に接続してください。FM 簡易アンテナは、受信信号が最も強くなる方向に向けてください。

外部 FM アンテナ：

市販の外部 FM アンテナ（75 Ω 同軸ケーブル）をご使用いただくと受信状態が良好になります。外部 FM アンテナを使用される場合は、付属の FM 簡易アンテナを外してください。

メモ

アンテナを本機の上や電源コードの近くに置くと、ノイズが発生する可能性があります。アンテナを本機から離れた場所に置くと、受信状態が良好になります。

■ iPod とテレビをつなぐ

本機に iPod とテレビを接続して、iPod の写真や映像を見ることができます。

市販のビデオケーブル（黄）を使用して、テレビの映像入力端子と、本機の映像出力端子に接続してください。

メモ

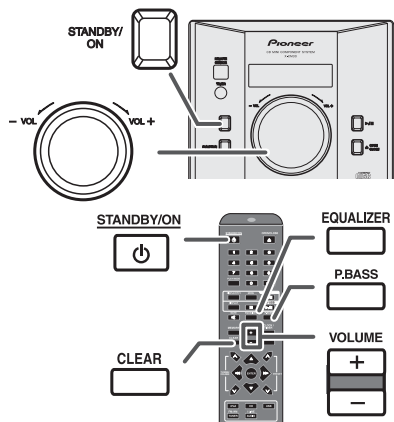
お客様のテレビの信号方式に合わせて、iPod を NTSC または PAL に設定してください。詳しくは、アップルのホームページをご覧ください。

■ 電源コードをつなぐ

すべての接続が終了したら、本機の AC 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込んでください。初めて電源を入れたとき、本機はスタンバイモードになります。

注意

旅行などで長期間本機を使用しない場合は、電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。電源コードを抜くときは必ず本機の電源をスタンバイにしてから抜いてください。

一般的な操作

■ 電源を入れる

電源を入れるときは、STANDBY/ON ボタンを押します。

ご使用後は :
STANDBY/ON ボタンを押してスタンバイモードにしてください。

■ 音量の自動設定

- 音量が 16 以上の状態で本機の電源を切った場合は、次に電源を入れると音量は自動的に 16 になります。
- 音量が15以下の状態で本機の電源を切った場合は、次に電源を入れると切る前と同じ音量になります。

■ 音量調整

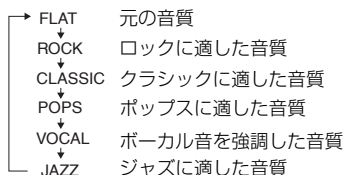
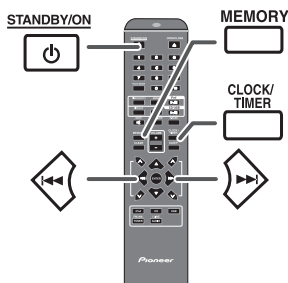
リモコンの VOLUME +/ −ボタンを押すか、本体のボリュームツマミ（VOL+/ −）を回して、音量を調整してください。
一時的に音を消したいときは、MUTE ボタンを押します。

■ 低音域を強調する（P.BASS）

P.BASS ボタンを押すと、低音域強調モードになります。低音域強調モードを取り消すときは、もう一度 P.BASS ボタンを押してください。

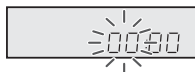
■ イコライザー

EQUALIZER ボタンを押すと、現在設定されているサウンドモードが表示されます。ボタンを押すたびに、下記のように切り換わります。お好みに応じて設定してください。

→ FLAT	元の音質
↓ ROCK	ロックに適した音質
↓ CLASSIC	クラシックに適した音質
↓ POPS	ポップスに適した音質
↓ VOCAL	ボーカル音を強調した音質
↓ JAZZ	ジャズに適した音質

時計を合わせる

リモコンを操作して本機の時計を合わせます。
例）24 時間表示の場合

1 STANDBY/ONボタンを押してスタンバイモードにします。

2 CLOCK/TIMER ボタンを押し続けると「00:00」と表示されます。

3 10 秒以内に ⏮ / ⏭ ボタンを押して、「時」を設定します。CLOCK/TIMER ボタンを押して確定します。⏮ / ⏭ ボタンを 1 回押すたびに時刻が 1 時間ずつ増減します。⏮ / ⏭ ボタンを押し続けると、時刻が連続的に変わります。

4 次に ⏮ / ⏭ ボタンを押して「分」を設定します。CLOCK/TIMER ボタンを押して確定します。⏮ / ⏭ ボタンを 1 回押すたびに時刻が 1 分ずつ増減します。⏮ / ⏭ ボタンを押し続けると、時刻が連続的に変わります。

時刻表示を確認する

CLOCK/TIMER ボタンを押すと、約 5 秒間、時刻が表示されます。

メモ

停電したり、電源プラグを抜くと時刻表示が「00:00」となり、時計合わせが無効になります。再度時計合わせを行なってください。

時計を設定しなおす

上記の「時計を合わせる」の手順で設定してください。

本機に接続できる iPod

- iPod nano
- iPod classic
- iPod touch
- iPod（第 5 世代以降）

⚠ 注意

- iPodは最新のバージョンのソフトウェアでご使用ください。最新のソフトウェアのバージョンやソフトウェアの更新方法については、アップルのウェブサイトでご確認ください。
- iPodのモデルやソフトウェアバージョンによっては、一部機能が制限されます。

メモ

- iPod を本機に接続すると、自動的に充電を開始します。ただし、本機が USB 入力のときは、iPod を充電できません。

■ iPod とアダプターの接続

iPod アダプターのマーク	対応する iPod モデル	容量
A	5G iPod（ビデオ機能付き）	30 GB
	U2 iPod（ビデオ機能付き）	30 GB
	iPod classic	80 GB, 120 GB
	iPod touch	8 GB, 16 GB
	iPod touch（第 2 世代）	8 GB, 16 GB, 32 GB
	iPod nano（第 3 世代）	4 GB, 8 GB
B	iPod nano	2 GB, 4 GB
	iPod nano（第 2 世代）	2 GB, 4 GB , 8 GB
	iPod nano（第 4 世代）	8 GB, 16 GB
E	5G iPod（ビデオ機能付き）	60 GB, 80 GB
	iPod classic	160 GB

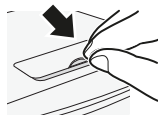
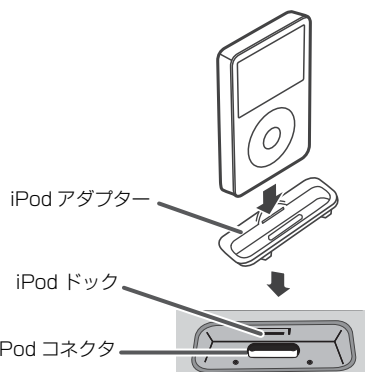
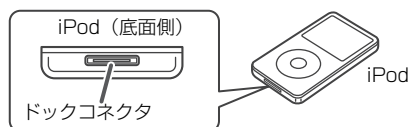
メモ

- 30ピンコネクタがないiPodの場合は、市販のオーディオケーブル（赤 / 白）を使用して iPod を AUDIO/LINE 入力端子に接続してください。
- 本機は、iPod に付属の変換アダプターには対応していません。iPod を接続する際は、本機に付属の上記アダプターを使用してください。
- 本機は iPhone には対応していません。

■ iPod アダプターを取り付ける

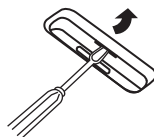
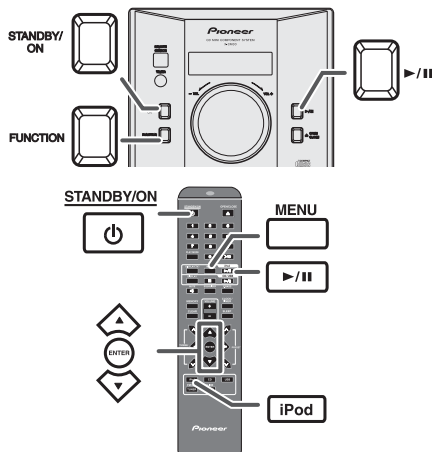
1 STANDBY/ONボタンを押して電源をオンにします。

2 iPod ドック部のカバーを、突起を持って開きます。

引き上げる

3 iPod アダプターを iPod ドックにはめ込み、iPod を接続します。

メモ

- 工場出荷時は、iPod ドックに A タイプの iPod アダプターが付いています。
- 必要に応じてこのアダプターを取り外し、推奨タイプの iPod アダプターに交換してください（左記の表を参照）。

■ iPod アダプターを取り外す

図のように小型マイナスドライバーの先端を、iPod アダプターの穴に差し込んで持ち上げると外れます。

■ iPod を再生する

1 STANDBY/ONボタンを押して電源をオンにします。

2 リモコンのiPodボタンを押すか、本体のFUNCTIONボタンを繰り返し押して、iPod 入力にします。

3 本体の iPod ドックに iPod をセットします。

4 ►/II ボタンを押すと再生を開始します。

■ iPod を外す

iPod ドックから iPod を抜いてください。再生中でも安全に外すことができます。

■ iPod メニューの操作

1 MENU ボタンを押すと iPod のメニューが表示されます。もう一度押すと前のメニューに戻ります。

2 ▲ / ▼ ボタンでメニューを選んで、ENTER ボタンを押します。

メモ

リモコンで iPod メニューを操作している間は、iPod 本体のボタンは操作しないでください。音量を調整するには、リモコンの VOLUME+/ −ボタンを押すか、本体のボリュームつまみ（VOL+/ −）を回します。iPod 側で音量を調整しても、スピーカーから出力される音量は変わりません。

本機の電源を入れたときの動作：

本機の電源をオンにすると、ドックにセットされている iPod の電源が自動的にオンになります（タイマー機能も含む）。

本機の電源をオフ（スタンバイ）にしたときの動作：

本機をスタンバイモードにすると、ドックにセットされている iPod は自動的に充電モードになります。

■ テレビを接続して iPod の映像を見る

1 DISPLAY(TV) ボタンを 2 秒以上押し続けます。ディスプレイに「TV DISP」と表示されます。

2 iPod の再生したい映像を選びます。

3 ENTER ボタンを押すと再生を開始します。

メモ

- iPodのテレビ出力がオンに設定されている場合は、ENTER ボタンを押すと自動的にテレビの画面に映像が表示されます。
- iPod の画面で映像を見られる状態に戻すには、MENU ボタンを押して映像リストを表示します。次にDISPLAY(TV) ボタンを2秒以上押し続けると「iPodDISP」と表示されます。上記の手順 2 ～ 3 の操作を行なってください。
- iPod の映像の再生中は、DISPLAY(TV) ボタンを押しても、映像の出力先を iPod とテレビの間で切り換えることはできません。

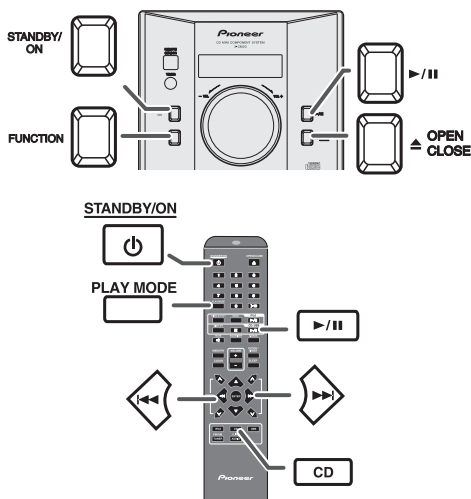
iPod 再生検出機能：

- iPod の再生ボタンを押すと、本機は前に選択されていた機能から、iPod機能に自動的に切り換わります。

注意

- iPod ドックにセットする前に、iPod 用のすべてのアクセサリを外しておいてください。

■ iPod 用のさまざまな機能

機能	本体	リモコン	操作
再生	►/II	►/II	一時停止中に押します。
一時停止	►/II	►/II	再生中に押します。
頭出し（スキップ）	——	◄◄ ►►I	再生中または一時停止中に押します。一時停止中にこのボタンを押した場合は、►/II ボタンを押すと選択した曲が再生されます。
早送り / 早戻し	——	◄◄ ►►I	再生中に押し続けます。ボタンを放すと、再生が再開されます。
ディスプレイ	——	DISPLAY(TV)	iPod のバックライトが点灯します。2 秒以上押し続けると、ビデオの出力先が iPod とテレビの間で切り換わります。
繰り返し再生（リピート）	——	PLAY MODE	リピートモードが切り換わります。
シャッフル	——	PLAY MODE	押し続けると、シャッフルモードが切り換わります。
iPod メニュー	——	MENU	iPod 機能の使用中に押すと iPod メニューが表示されます。
iPod 選択確定	——	ENTER	選択内容を確定します。
iPod カーソル上下移動	——	▲ ▼	iPod メニューから選択するときは、これらのボタンを押します。

本機では、市販の音楽用 CD、CD 形式で記録された CD-R/RW、MP3 または WMA ファイルが記録された CD-R/RW を再生することができます（本機でこれらのディスクに録音することはできません）。ディスクの状態や録音した機器によって、本機で再生できない場合があります。

MP3:

MP3 は「MPEG Audio Layer 3」の略語で、圧縮形式の一つです。この MP3 という音声符号化形式では、音質をほとんど低下させずに元の音源を大幅に圧縮することができます。

- 本機は、MPEG 1 Layer 3 のファイルと VBR（可変ビットレート）ファイルをサポートします。
- VBR ファイルの再生時は、表示される時間と実際の再生時間が異なる場合があります。
- MP3 でサポートされるビットレートは、32 kbps ～ 320 kbps です。

WMA:

WMA ファイルは、Windows Media の音声コーデックで圧縮された音声ファイルが含まれた ASF (Advanced System Format) ファイルです。WMA は、Windows Media Player 用の音声形式ファイルとしてマイクロソフトにより開発されたものです。

- 本機がMP3やWMAが書き込まれたディスクの情報を読み込むと、「MP3」や「WMA」のインジケーターが表示されます。
- WMAでサポートされるビットレートは、64 kbps ～ 160 kbps です。

オートパワーオフ機能：

再生を停止したまま何も操作せずに 15 分経過すると、自動的にスタンバイモードになります。

■ ディスクを再生する

1. STANDBY/ON ボタンを押して電源をオンにします。
2. リモコンのCDボタンを押すか、本体のFUNCTION ボタンを繰り返し押して、CD 入力を選択します。
3. OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。
4. ディスクトレイに、ラベルが上になるようにディスクをセットします。

5. OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
6. ►/II ボタンを押すと再生を開始します。最後の曲の再生が終わると本機は自動的に停止します。

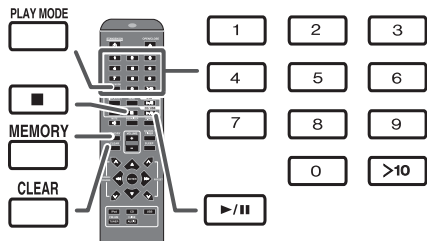
⚠ 注意

- ディスクトレイに2枚のディスクを入れないでください。
- 特殊な形状のディスク（ハート形や六角形など）を再生しないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが動いているときには、ディスクトレイに触れないでください。
- トレイが開いている状態で停電になった場合は、電源が復旧するまでお待ちください。
- CD の動作中にテレビやラジオで電波障害が発生する場合は、テレビやラジオから離れた場所に本機を移動してください。
- ディスクは、必ずディスクトレイの中心にセットしてください。
- MP3/WMAディスクは、読み込み時間が通常のCDより長くなります（約 20 ～ 90 秒）。

CD や MP3/WMA ディスクについてのご注意：

- 早送り中にディスクの最後に達した場合は、CD 動作を停止します。また、ディスクの最初まで早戻しすると再生を開始します。
- ファイナライズされていない書き換え可能なマルチセッションのディスクも再生できます。

■ さまざまなディスク機能

機能	本体	リモコン	操作
再生 ►	►/II	►/II	停止中に押します。
停止	►/II	■	再生中に押します。 ►/II ボタンを長押しすると再生を停止します。
一時停止 II	►/II	►/II	再生中に押します。 ►/II ボタンを押すと、一時停止したところから再生を再開します。
頭出し（スキップ）	――	⏮ ⏭	再生中または停止中に押します。 停止中にこのボタンを押した場合は、►/II ボタンを押すと選択した曲が再生されます。
早送り / 早戻し	――	⏮ ⏭	再生中に押し続けます。 ボタンを放すと再生が再開されます。

■ トラックを指定して再生する（ダイレクトトラックサーチ）

ダイレクトサーチ（数字）ボタンを使用すると、現在のディスクのお好みの曲を再生することができます。

ディスクの再生中に曲を選択する場合は、リモコンのダイレクトサーチ(数字)ボタンを使用してください。

- ダイレクトサーチ（数字）ボタンでは曲番号を 9 まで指定することができます。
- 曲番号 10 以上を指定する場合は、>10 ボタンを使用してください。

A. 13 を指定する場合：
>10 ボタンを押してから、数字ボタンの 1、3 を順に押します。

B. 130 を指定する場合：
>10 ボタンを 2 回押してから、数字ボタンの 1、3、0 を順に押します。

選択されている曲番号

メモ

- ディスクの曲数より大きい曲番号を指定することはできません。
- ランダム再生時は、ダイレクトサーチはできません。

再生を停止する

- 本体の ►/❚❚ ボタンを押し続けるか、リモコンの CD ■ ボタンを押します。

■ 繰り返し再生する（リピート）

リピート再生では、1 つの曲、すべての曲、または指定した曲を指定した順番で繰り返し再生することができます。

1 曲リピート

「RPT ONE」が表示されるまで PLAY MODE ボタンを繰り返し押し、►/❚❚ ボタンを押します。

全曲リピート

「RPT ALL」が表示されるまで PLAY MODE ボタンを繰り返し押し、►/❚❚ ボタンを押します。

選択したすべての曲のリピート

「好みの順に再生する」（下記）の手順 1 ～ 6 と同様に操作し、さらに「RPT ALL」が表示されるまで PLAY MODE ボタンを繰り返し押します。

リピート再生を取り消す

「⮌」が消えるまで PLAY MODE ボタンを繰り返し押します。

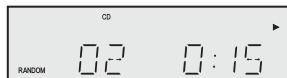
■ 順不同に再生する（ランダム）

ディスクの曲を、自動的に順不同で再生することができます。

すべての曲をランダム再生する

「RANDOM」が表示されるまでリモコンの PLAY MODE ボタンを押し続け、►/❚❚ ボタンを押します。

ランダム再生を取り消す

PLAY MODE ボタンを押し続けると、「RANDOM」表示が消えます。

メモ

- ランダム再生時は、リピート機能は使用できません。
- すべての曲をランダムに再生したあと、動作を停止します。
- ランダム再生中に ►►❚ ボタンを押した場合は、ランダム機能により選択されている次の曲に移動します。❚◄◄ ボタンを押した場合は、現在の曲の先頭に戻ります（前の曲に戻ることはできません）。
- ランダム再生時は、本機が自動的に曲を選択して再生します。お客様が曲の順序を指定することはできません。

■ 好みの順に再生する（プログラム）

聞きたい順に最大32曲まで選択して再生することができます。

1 停止中にリモコンの MEMORY ボタンを押して、プログラム登録モードにします。

2 ❚◄◄ / ►►❚ ボタンを押して、再生する曲を選びます。

選択された曲番号

3 MEMORY ボタンを押すと、曲番号が登録されます。

4 他にも登録したい曲がある場合は、手順2～3を繰り返して曲番号を登録します。最大 32 曲まで登録することができます。間違えて登録した場合は、MEMORY ボタンを押して消したい曲番号を選び、CLEAR ボタンを押してください。

5 ►/❚❚ ボタンを押すと再生を開始します。

6 CD ■ ボタンを押すと、メモリーに登録されている曲の総数が表示されます。

プログラム再生モードを取り消す

停止中に「MEMORY」インジケーターが表示されているときに、リモコンの ■ ボタンを 2 回押します。「MEMORY」が消え、プログラムに登録されているすべての内容が消去されます。

プログラムに曲を追加する

登録したプログラムが既にある場合は「MEMORY」インジケーターが表示されます。最後の曲が表示されるまで、繰り返し MEMORY ボタンを押し、さらに、手順 2 ～ 4 の操作を行って曲を追加します。元のプログラムの最後の曲の後に新しい曲が登録されます。

プログラムに登録されている曲を確認する

プログラム再生モードで本機が停止しているときに、何回か MEMORY ボタンを押します。

登録されている曲をプログラムから削除する

停止中に MEMORY ボタンを押して、消したい曲を選び CLEAR ボタンを押します。その曲がプログラムから削除されます。

メモ

- ディスクを取り出した場合は、プログラムは自動的に取り消されます。
- 電源を切ったり、CD 機能から別の機能に切り換えた場合は、プログラムは消去されます。
- プログラム再生時は、ランダム再生機能を使用できません。

MP3/WMA（Windows Media Audio）ファイルを再生する

インターネットには、MP3/WMA（Windows Media Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽サイトがあります。音楽ファイルのダウンロード方法は、ウェブサイトの説明を参照してください。ダウンロードした音楽ファイルを CD-R/RW ディスクに書き込んで、再生することができます。

- ダウンロードした曲やファイルは、個人的な利用に限り許可されています。著作権者の許可を得ず曲を利用することは法律で禁じられています。

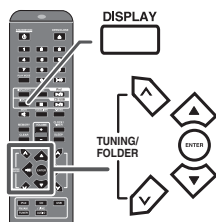
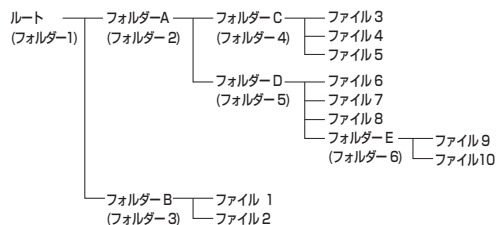
■ フォルダーの再生順序について

複数のフォルダーにMP3/WMAファイルを書き込むと、各フォルダーには自動的にフォルダー番号が付けられます。

フォルダーを選択するには、リモコンの **FOLDER** ⌃ **/** ⌄ ボタンを使用します。選択したフォルダー内にサポートされている形式のファイルがない場合は、そのフォルダーをスキップして次のフォルダーが選択されます。

例：MP3/WMA 形式のファイルを書き込む際、フォルダー番号は次のように付けられます。

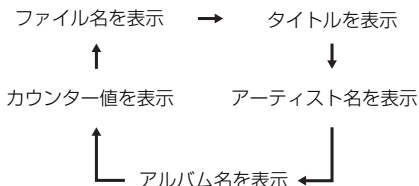
1. ルートフォルダーがフォルダー 1 になります。
2. ルートフォルダーの中のフォルダー（フォルダー A とフォルダー B）は、ディスクに書き込まれた順にフォルダー 2、フォルダー 3 になります。
3. フォルダー A の中のフォルダー（フォルダー C とフォルダー D）は、ディスクに書き込まれた順にフォルダー 4、フォルダー 5 となります。
4. フォルダー D の中にあるフォルダー E は、フォルダー 6 になります。

- ディスクに書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は書き込みソフトによって異なります。そのため、予想した再生順序と異なる順番でファイルが再生されることがあります。
- CDに書き込まれたMP3/WMAの場合は、255個までのフォルダーとファイルを読み込むことができます（再生できないファイルが含まれているフォルダーも個数に含まれます）。

■ MP3/WMA ディスクを再生する

CD-R/RW の再生は、以下の手順で操作します。

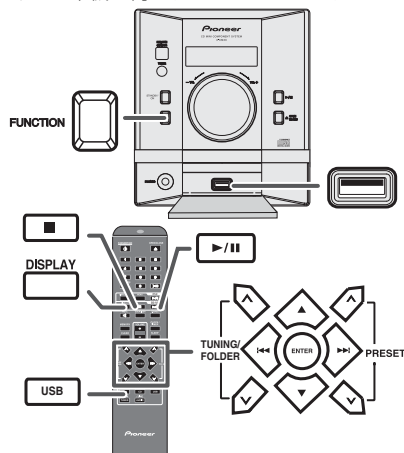
1. **CD** ボタンを押して、MP3/WMA ディスクを読み込みます。読み込みが終わると、ディスク情報が表示されます。

2. **FOLDER** ⌃ **/** ⌄ ボタンを押し、再生したいフォルダーを選びます（フォルダーモードオン）。

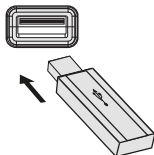
3. ⏮ / ⏭ ボタンを押して、再生したいファイルを選びます。
4. ►/❚❚ ボタン（**CD** ►/❚❚ ボタン）を押すと、再生を開始します。
   - ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名がディスクに書き込まれている場合は、その情報が表示されます。
   - 再生中でも、**FOLDER** ⌃ **/** ⌄ ボタンを押してフォルダーを選択することができます。その場合は、選択したフォルダーの最初の曲から再生が続けられます。
   - **CD DISPLAY** ボタンを押すと、表示内容を切り換えることができます。

メモ

「著作権で保護されている WMA ファイル」または「サポートされていない形式の再生ファイル」は再生できません。再生中のファイルにこのような曲がある場合は、自動的にスキップされます。

USB メモリーを再生する

お手持ちの USB メモリーを本機に接続することで、USB メモリーに記録されている MP3 または WMA ファイルを本機で再生することができます。

■ フォルダーモードがオフのときに USB メモリーを再生する

1 リモコンのUSBボタンを押すか、本体のFUNCTIONボタンを繰り返し押して、USB 入力を選択します。

2 USBメモリーを本機に接続します。USBメモリーが本体に接続されると、曲の情報が表示されます。

3 ⏮ / ⏭ ボタンを押して、再生するファイルを選びます。

4 ►/II（USB ►/II）ボタンを押すと、再生を開始します。

- タイトル名、アーティスト名、アルバム名が USB メモリーに書き込まれている場合は、その情報が表示されます。
- 表示内容を切り換えるには、DISPLAY ボタンを押します。

メモ

再生を一時停止するには：

►/II（USB ►/II）ボタンを押します。

オートパワーオフ機能：

再生を停止したまま何も操作せずに 15 分経過すると、自動的に電源が切れます。

■ フォルダーモードがオンのときに USB メモリーを再生する

1 リモコンのUSBボタンを押すか、本体のFUNCTIONボタンを繰り返し押して、USB 入力を選択します。

2 USBメモリーを本機に接続します。USBメモリーが本体に接続されると、曲の情報が表示されます。

3 FOLDER ∧ / ∨ ボタンを押して、再生するフォルダーを選びます。
再生を開始する場合は、手順 4 に進みます。
フォルダーを変更する場合は、FOLDER ∧ / ∨ ボタンを押して別のフォルダーを選びます。

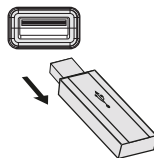
4 ⏮ / ⏭ ボタンを押して、再生するファイルを選びます。

5 ►/II（USB ►/II）ボタンを押すと再生を開始します。

- タイトル名、アーティスト名、アルバム名が USB メモリーに書き込まれている場合は、その情報が表示されます。
- 表示内容を切り換えるには、DISPLAY ボタンを押します。

■ USB メモリーを取り外す

1 ■（USB ■）ボタンを押して再生を停止します。

2 USB 端子から USB メモリーを外します。

3 端子のカバーを閉じます。

メモ

- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーによっては動作しないことがあります。
- 本機と接続したことで、万一 USB メモリーのファイルが損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。
- FAT 16およびFAT 32形式のUSBメモリーに対応しています。
- 本機は USB ハブには対応していません。
- USB メモリーは、延長ケーブルを使用せず、USB 端子に直接接続してください。
- 本機の USB 端子は PC 接続用ではなく、USB メモリーでの音楽ストリーミング使用を目的としています。
- 外部ハードディスクドライブを USB 端子に接続して再生することはできません。
- USB メモリー内のデータ容量が大きいと、データの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 本機では、MP3 や WMA のファイルを再生することができます。再生するファイルの種類は自動的に検出されます。再生できないファイルを本機で再生しようとした場合は、そのファイルは自動的にスキップされます。この処理には 2、3 秒かかります。対応できないファイルが原因で正しくディスプレイ表示されない場合は、本機の電源入れ直してください。
- USB メモリーによっては想定外の原因で動作異常が発生する可能性もあります。そのような場合は、本機の電源を入れ直してください。

■ 繰り返し再生する（リピート）

リピート再生では、1 つの曲またはすべての曲を繰り返し再生することができます。

1 曲リピート

「RPT ONE」が表示されるまで **PLAY MODE** ボタンを繰り返し押し、►/❚❚（**USB** ►/❚❚）ボタンを押します。

全曲リピート

「RPT ALL」が表示されるまで **PLAY MODE** ボタンを繰り返し押し、►/❚❚ （**USB** ►/❚❚）ボタンを押します。

リピート再生を取り消す

「⮎」が消えて「NORMAL」が表示されるまで繰り返し **PLAY MODE** ボタンを押します。

■ 好みの順に再生する（プログラム）

聞きたい順に最大32曲まで選択して再生することができます。

1 停止中にリモコンの **MEMORY** ボタンを押して、プログラム登録モードにします。

2 **FOLDER** ∧ / ∨ ボタンを押して再生するフォルダーを選んでから、⏮ ⏭ ボタンを押して再生する曲を選びます。

選択した曲番号

3 **MEMORY** ボタンを押すと、曲番号が登録されます。

4 他にも登録したい曲がある場合は、手順2～3を繰り返して曲番号を登録します。最大 32 曲まで登録することができます。

5 プログラム再生中に、本体の ►/❚❚ ボタンを押し続けるか、リモコンの **CD** ■ ボタンを押すと、プログラム再生を停止します。メモリー内にある曲の総数が表示されます。

■ 順不同に再生する（ランダム）

曲を自動的に順不同で再生することができます。

すべての曲をランダム再生する

リモコンの **PLAY MODE** ボタンを押し続け、►/❚❚（**USB** ►/❚❚）ボタンを押します。

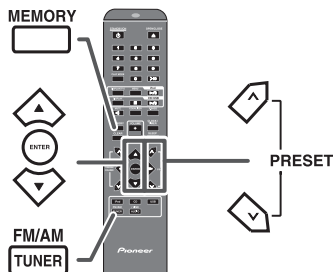
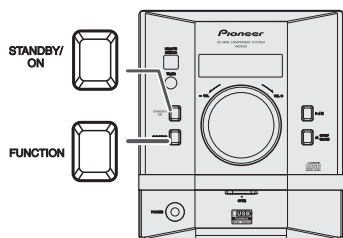
ランダム再生を取り消す

PLAY MODE ボタンを押し続けると、「RANDOM」表示が消えます。

ランダム再生について

- ランダム再生時は、リピート機能は使用できません。
- すべての曲をランダムに再生した後、動作を停止します。
- ランダム再生中に ⏭ ボタンを押した場合は、ランダム機能により選択されている次の曲に移動します。⏮ ボタンを押した場合は、現在の曲の先頭に戻ります（前の曲に戻ることはできません）。
- ランダム再生時は、本機が自動的に曲を選択して再生します。お客様が曲の順序を指定することはできません。

メモ

- 本機でサポートされるのは「MPEG-1 Audio Layer 3」形式です（サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz）。
- 「MPEG-2 Audio Layer 3」、「MPEG-2.5 Audio Layer 3」、MP1、MP2 形式は、サポートされません。
- MP3 ファイルの再生順序は、ファイルのダウンロード時に使用した書き込みソフトウェアにより異なる場合があります。
- サポートされるビットレートは、MP3では32 kbps ～ 320 kbps、WMA では 64 kbps ～ 160 kbps です。
- MP3/WMAファイルには拡張子「.MP3」や「.WMA」を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生できません。
- 本機ではプレイリストはサポートされません。
- 本機ではフォルダー名やファイル名を最大で 32 文字まで表示できます。
- MP3/WMA の両方の形式を合計したファイルの最大総数は 65280 です。フォルダーの最大総数は 255 です（ルートディレクトリーも個数に含まれます）。
- 再生不可能なファイルが含まれるフォルダーも個数に含まれます。
- 可変ビットレートファイルの再生中は、表示される再生時間が正確でない場合があります。
- サポートされる ID3TAG 情報は、タイトル名、アーティスト名、アルバム名だけです。タイトル、アーティスト名、アルバム名を表示するには、ファイルの再生中または一時停止中に **DISPLAY** ボタンを押します。
- WMA メタタグでも、WMA ファイルに書き込まれたタイトル名、アーティスト名、アルバム名がサポートされます。著作権で保護された WMA ファイルは再生できません。

■ 放送局を受信する

1 STANDBY/ONボタンを押して電源をオンにします。

2 TUNERボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。

3 TUNING ∧ / ∨ ボタンを押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます。

- マニュアルチューニング：
TUNING ∧ / ∨ ボタンを押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます。
- オートチューニング：
TUNING ∧ / ∨ ボタンを0.5秒以上押し続けると、放送局のスキャンを開始します。
放送局を受信すると自動的に停止します。

メモ

- 電波障害が発生すると、その周波数でオートチューニング動作が自動的に停止する場合があります。
- オートチューニングでは、信号の弱い放送局はスキップされます。

FMステレオ放送を受信する

- TUNER ボタンを押してステレオモードを選択すると「ST」インジケーターが表示されます。FM放送がステレオのときは「ꝏ」が表示されます。
- 受信しているFM電波が弱い場合は、TUNERボタンを押して「ST」インジケーターを消してください。モノラル受信に切り換わり、聞きやすくなります。

■ 放送局を記憶させる

AMとFMの放送局を40局までメモリーに記憶させ、ボタンを押すだけで放送局を呼び出すことができます（プリセットチューニング）。

1 記憶させたい放送局を受信します。
受信のしかたは「放送局を受信する」を参照してください。

2 MEMORYボタンを押します。

3 ⏮ / ⏭ ボタンを押して、記憶させるプリセット番号を選びます。プリセット番号は1から順にメモリーに記憶させてください。

4 MEMORYボタンを押すと、その放送局がメモリーに記憶されます。放送局を記憶させる前に「MEMORY」とプリセット番号インジケーターが消えた場合は、手順2から操作をやり直してください。

5 その他の放送局を記憶させる場合や、記憶させた放送局を変更する場合は、手順1～4の操作を繰り返します。新しい放送局をメモリーに記憶させると、以前にそのプリセット番号で記憶されていた放送局は消去されます。

メモ

バックアップ機能があるため、停電の場合や電源コードを抜いた場合でも、記憶されている放送局の情報は数時間維持されます。

■ 記憶されている放送局を呼び出す

PRESET ∧ / ∨ ボタンを押して（0.5秒以内）、聞きたい放送局を選びます。

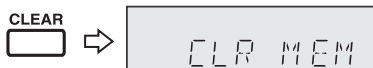
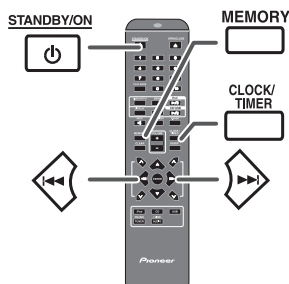
■ 記憶されている放送局を順番に切り換えて探す

メモリーに記憶されている放送局を、自動的に順番に切り換えていきながら探すことができます（プリセットメモリースキャン）。

1 PRESET ∧ / ∨ ボタンを0.5秒以上押し続けます。各プリセット番号が表示され、記憶されている放送局が順番に5秒ずつ選局されます。

2 聞きたい放送局に切り換わったら、もう一度PRESET ∧ / ∨ ボタンを押します。

■ メモリーに記憶されているすべてのプリセット情報を消去する

1「CLR MEM」が表示されるまで、CLEARボタンを押し続けます。

■ タイマー再生

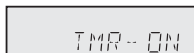
指定した時刻に本機の電源を入れて、指定した入力の音声（CD、TUNER、USB、iPod）を再生することができます。

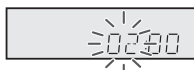
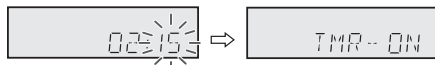
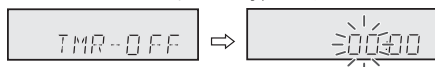
タイマーを設定する前に

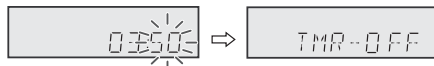
1 時計の時刻が正しく設定されているか確認してください（10 ページ参照）。
  時刻が設定されていないと、タイマー機能を使用することができません。

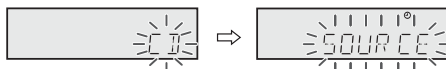
2 CD をタイマー再生する場合は、トレイに再生する CD をセットしてください。

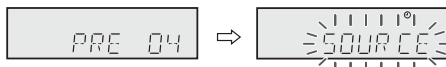
1 **STANDBY/ON** ボタンを押して、電源をオンにします。

2 **CLOCK/TIMER** ボタンを 2 秒押し続けます。

3 10 秒以内に **CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

4 ⏮ / ⏭ ボタンで「時」を設定し、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

5 ⏮ / ⏭ ボタンで「分」を設定し、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

6 ⏮ / ⏭ ボタンで「TMR-OFF」を表示させ、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

7 ⏮ / ⏭ ボタンで「時」を設定し、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

8 ⏮ / ⏭ ボタンで「分」を設定し、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

9 タイマー再生する音源を選択するには、⏮ / ⏭ ボタンで「SOURCE」を表示させ、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

10 ⏮ / ⏭ ボタンで、目覚まし用の入力（CD、USB、Tuner、iPod）を選びます。**CLOCK/TIMER** ボタンを押して確定します。

11「TUNER」を選んだ場合は、**CLOCK/TIMER** ボタンを押して、プリセット放送局選択モードにします。

12 ⏮ / ⏭ ボタンで、登録してある放送局番号を選んで、**CLOCK/TIMER** ボタンを押します。

13 タイマー再生の準備ができたことを示す「◷」インジケーターが表示されます。

14 **STANDBY/ON** ボタンを押して、電源をスタンバイモードにします。**CLOCK/TIMER** ボタンを押して、タイマーの設定を確定します。

15 設定した時刻になると再生を開始します。タイマー再生中であることを示す「◷」インジケーターが点滅します。電源を切る前と同じ音量まで、徐々に音量が大きくなります。

16 タイマー再生終了時刻になると、電源は自動的にスタンバイモードになります。

タイマーの設定を確認する：

1 **CLOCK/TIMER**ボタンを繰り返し押すと、次のように表示されます。

タイマーの設定を取り消す：

SLEEP ボタンを 2 秒以上押し続けます。「◷」インジケーターが消え「TMR-OFF」と表示されます。

記憶されているタイマー設定をもう一度使用する：

入力したタイマー設定は記憶されています。
同じ設定をまた使用する場合は、**SLEEP** ボタンを 2 秒以上押し続けます。「◷」インジケーターが表示され、「TMR-ON」と表示されます。

タイマー機能とスリープ機能（続き）

メモ

- 再生する音源を選択してから CLOCK/TIMER ボタンを押して確定すると、「SOURCE」が 2 秒間点滅表示された後、直前の機能に戻ります。
- 設定時刻になったとき、選択されている音源がない場合は現在の設定で再生が開始されます。
- タイマー設定時に音量を設定することはできません。

■ スリープ機能

ラジオ、CD、USB 入力のときに、指定した時間が経過すると自動的に電源をスタンバイにすることができます。

1. 好みの入力を再生します。
2. **SLEEP** ボタンを押します。
3. 10 秒以内に **SLEEP** ボタンを繰り返し押して、オフにするまでの時間を選びます。

   10 → 20 → 30 → ... → 80 → 90
4. 「SLEEP」が表示されます。
5. 設定した時間が経過すると、自動的にスタンバイモードになります。

スリープ動作の残り時間を確認する：

1. 「SLEEP」が表示されている状態で **SLEEP** ボタンを押します。残り時間が約 10 秒間表示されます。

スリープ動作を取り消す：

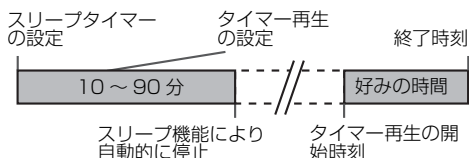
「SLEEP」が表示されている状態で **STANDBY/ON** ボタンを押します。本機をスタンバイモードに設定せずにスリープ動作を取り消すには次のようにします。

1. 「SLEEP」が表示されている状態で **SLEEP** ボタンを押します。
2. 10 秒以内に **SLEEP** ボタンを繰り返し押して、「SLEEP 00」を選びます。

■ タイマー機能とスリープ機能を組み合わせて使用する

スリープ機能で停止し、タイマー機能で再生を開始する

たとえば、ラジオを聞きながら眠り、翌朝 CD で起きることができます。

1. スリープ時間を設定します（上記の手順 1 ～ 5）。
2. スリープタイマーが設定されている状態でタイマー再生を設定します（20 ページの手順 2 ～ 10）。

外部機器を接続する

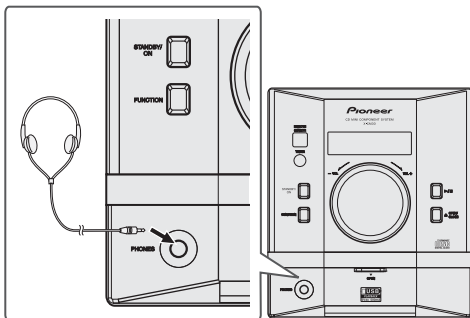
■ ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続して聞く

接続ケーブルは別売です。市販のケーブルをお買い求めください。

1. 接続ケーブルを使用してポータブルオーディオプレーヤーなどを AUDIO/LINE 入力端子に接続します。ビデオ機器を使用する場合は、音声出力を本機に接続し、映像出力をテレビに接続します。
2. **STANDBY/ON** ボタンを押して、電源をオンにします。
3. リモコンの **AUDIO/LINE** ボタンを押すか、本体の **FUNCTION** ボタンを繰り返し押して、AUDIO/LINE 入力を選択します。
4. 接続した機器を再生状態にします。接続した機器の音量が大き過ぎると音が歪む場合があります。このような場合は、接続した機器で音量を小さくしてください。音量が小さ過ぎる場合は、接続した機器で音量を大きくします。

メモ

電波障害による雑音が出る場合は、テレビから離れた場所に本機を置いてください。

■ ヘッドホン

- ボリュームを最大音量に設定した状態で電源を入れないように注意し、控えめな音量で音楽を聞いてください。イヤホンやヘッドホンで大きな音を聞くと聴力障害を起こす恐れがあります。
- ヘッドホンを接続する前や取り外す前に、ボリュームを小さくしてください。
- ヘッドホンは、プラグの直径が 3.5 mm、インピーダンスが 16 Ω ～ 50 Ω のものを使用してください（推奨インピーダンス 32 Ω）。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからは音が出なくなります。ヘッドホンの音量は、ボリュームつまみで調整してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器などもあわせてお調べください。

以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

■ 全般

症状	原因 / 対策
● 時計の時刻が合っていない。	● 停電がありませんでしたか？ 時計を設定し直してください（10 ページ参照）。
● ボタンを押しても本機が反応しない。	● 本機の電源をスタンバイモードにしてから、再びオンにしてください。 ● それでも異常が直らない場合は本機をリセットしてください（23 ページを参照）。
● 音が出ない。	● 音量がゼロになっていませんか？ ● ヘッドホンが接続されていませんか？ ● スピーカーの接続コードが外れていませんか？

■ CD プレーヤー

症状	原因 / 対策
● 再生が開始されない。 ● 再生が途中で止まる、正常に再生されない。	● ディスクが裏返しに入っていませんか？ ● 規格に合ったディスクですか？ ● ディスクに変形や傷がありませんか？
● 再生が途中で飛ぶ、曲の途中で止まる。	● 振動が多い場所に本機を置いていませんか？ ● ディスクが汚れていませんか？ ● 本機の内部で結露が発生していませんか？

■ リモコン

症状	原因 / 対策
● リモコンが効かない。	● 本体のAC電源コードのプラグは差し込まれていますか？ ● 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？ ● リモコンの電池がなくなっていませんか？ ● 本体へのリモコンの距離や角度は適切ですか？ ● リモコンの受光部に強い光が当たっていませんか？

■ チューナー

症状	原因 / 対策
● ラジオに切り換えるとノイズが出る。	● 本機をテレビやコンピューターの近くに置いていませんか？ ● FM 簡易アンテナや AM ループアンテナの位置は適切ですか？ アンテナが AC 電源コードの近くにある場合は、距離を離してください。

■ USB

症状	原因 / 対策
● デバイスを検出できない。	● 使用可能な MP3/WMA ファイルが入っていますか？ ● USB メモリーは正しく接続されていますか？
● 再生が開始されない。	● 著作権で保護された WMA ファイルではありませんか？ ● ファイルが破損していませんか？
● 時刻表示がおかしい。 ● ファイル名表示がおかしい。	● 再生中のファイルは可変ビットレートではありませんか？ ● ファイル名が中国語または日本語の文字で書き込まれていませんか？

■ iPod

症状	原因 / 対策
● 音が出ない。 テレビやモニターに画像が表示されない。	● iPod が再生状態になっていますか？ ● iPod が本機に正しく接続されていますか？ ● 本機の AC 電源コードは接続されていますか？ ● ビデオケーブルが正しく接続されていますか？ ● テレビやモニターの入力は正しく選択されていますか？
● iPod が充電されない。	● 間違った iPod アダプターを使用していませんか？ ● iPod と iPod コネクターの接触不良ではありませんか？ ● 第 3 世代の iPod ではありませんか？ ● USB 入力のときは、iPod を充電することはできません。

■ 結露

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

■ 問題が発生したら

本製品は、外部からの強い負荷（機械的衝撃、過大な静電気、雷による異常な電源電圧など）や不適切な操作によって、動作が異常になる場合があります。

このような問題が発生した場合は、次のようにしてください。

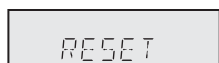
1 本機をスタンバイモードにしてから、再びオンにしてください。
2 OPEN CLOSE ボタンを押しながら、「RESET」が表示されるまで STANDBY/ON ボタンを押します。

メモ

上記のどちらの方法でも本機が元に戻らない場合は、リセット操作を行ってメモリーのすべての内容を消去してください。

■ 工場設定値にリセットしてメモリーの内容をすべて消去する

1 STANDBY/ON ボタンを押して、スタンバイモードにします。

2 OPEN CLOSE ボタンを押しながら、「RESET」が表示されるまで STANDBY/ON ボタンを押します。

注意

この操作を行うと、時計、タイマー設定値、チューナー設定値、CD プログラムなど、メモリーに記憶されているすべてのデータが消去されます。

■ 本機を運搬する前に

本機からすべての CD を取り出し、CD がディスクトレイに残っていないことを確認してください。本機を電源スタンバイモードにしてください。ディスクが入ったまま持ち運ぶと、本機を損傷する場合があります。

■ CD の取り扱いについて

ディスクに指紋やホコリが付くと、再生できなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク (ひびやそりのあるディスク) は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れをつけないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

してはいけないこと

正しい取り扱い方

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

22 ～ 23 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、または修理受付窓口（裏表紙に記載）にご連絡ください。

本品は持ち込み修理対応製品です。故障して修理をお受けになる場合は、お買い求めの販売店またはパイオニアサービス拠点に、製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

連絡していただきたい内容

ご住所
お名前
お電話番号
製品名：CD ミニコンポーネントシステム
型番：X-CM30
お買い上げ日
故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗料などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。

ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）。また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東関東サービスセンター	FAX　047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX　045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

サービス拠点のご案内（続き）

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点		番号	郵便番号	住所
☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点		番号	郵便番号	住所
☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　(有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点		番号	郵便番号	住所
☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点		番号	郵便番号	住所
沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121		

平成22年6月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

特にご注意いただきたい事項

本製品を利用して作成されたコンテンツを、営利目的での放送システム（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビ、その他の配信チャンネル)、営利目的でのストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット、その他のネットワーク経由)、営利目的のその他のコンテンツ配信システム（ペイオーディオアプリケーションやオーディオオンデマンドアプリケーションなど)、あるいは営利目的の物理媒体（CD、汎用デジタルディスク、半導体チップ、ハードディスクドライブ、メモリーカードなど）で配信することについてのいかなるライセンスや暗黙的権利も、本製品の提供に伴い供与されることはありません。このような方法で本製品を利用される場合には、個別のライセンスが必要です。詳細は http://mp3licensing.com をご覧ください。

MPEG Layer-3 音声復号化技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスされています。

仕様

■ 全般

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	30 W
待機時消費電力（スタンバイ状態）	0.3 W
外形寸法	155 mm × 178 mm × 243 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	2.20 kg

■ アンプ

出力	24 W（12 W + 12 W）（全高調波歪み 10 %）
出力端子	スピーカー：6 Ω ヘッドホン：16 Ω ～ 50 Ω（推奨値：32 Ω）
入力端子	AUDIO/LINE（アナログ入力）：500 mV/47 kΩ

■ CD プレーヤー

タイプ	シングルディスク・マルチプレイ・コンパクトディスクプレーヤー
信号読み出し	非接触式、3 ビーム半導体レーザーピックアップ
D/A コンバーター	マルチビット D/A コンバーター
周波数特性	20 Hz ～ 20 000 Hz
ダイナミックレンジ	90 dB (1 kHz)

■ USB

USB ホストインターフェイス	● USB 1.1（フルスピード）/2.0 マスストレージクラスに適合 ● バルクオンリー転送プロトコルと CBI 転送プロトコルをサポート
サポートされるファイル	● MPEG 1 Layer 3 ● WMA（Non DRM）
サポートされるビットレート	● MP3（32 kbps ～ 320 kbps） ● WMA（64 kbps ～ 160 kbps）
その他	● MP3/WMA ファイルの最大総数は 65 280 ● フォルダーの最大総数は 255（ルートディレクトリーも含む） ● サポートされる ID3TAG 情報：タイトル名、アーティスト名、アルバム名のみ ● ID3TAG version 1、version 2 をサポート
サポートされるファイルシステム	● Microsoft Windows/DOS/ FAT 12/FAT 16/ FAT 32 の USB デバイスをサポート ● セクターのブロック長は 2 kbyte

■ チューナー

周波数範囲	FM：76.0 MHz ～ 90.0 MHz AM：522 kHz ～ 1620 kHz

■ スピーカー

タイプ	2 ウェイ 2 スピーカーシステム 5 cm ツィーター 10 cm ウーファー
最大入力	24 W
定格入力	12 W
インピーダンス	6 Ω
外形寸法	132 mm × 260 mm × 171.5 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	1.98 kg/1 台

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120－944－222　一般電話　044－572－8102

■ファックス　044－572－8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーハパイオニア）　一般電話　044－572－8100

■ファックス　0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－987－1120

■ファックス　098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　一般電話　044－572－8107

■ファックス　0120－5－81096

平成22年6月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.039

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<TINSJA150AWZZ>